

「保育環境まつもと指標」フィードバックシート

実施日 令和6年8月26日(月)

園名 鈴蘭幼稚園

観察者 3名

項目1 施設環境や室内外の遊具等の物的環境

■ 4.1以上 ■ 2以下

①心地良く過ごしやすい環境

		0	1	2	3	4	5
室内空間	1 室内の適切な明るさ						
	2 適切な室温、過ごしやすさ						
	3 適切な園舎内外の保育者の声、物音、放送等の音量、音質						
	4 車いすや歩行が困難な人の施設の使用しやすさ						
	5 室内のクラス人数に応じた十分な広さ						

②子どもが主体的に活動できる環境

		0	1	2	3	4	5
室内構成、遊具	6 子どもの動線を考えた室内の配置						
	7 室内の遊具の素材、耐久性、安全性						
	8 子どもの所持品の使いやすさ						
	9 壁面の整理され適切な掲示内容						
	10 子どもにとっての遊具・教材・設備等の使いやすさ、配置						
	11 子どもにとって活動しやすい遊具・教材の量、内容						
	12 足をつけて座る等、身長等に合った適切な椅子・机の高さ						

③室内で身体を十分動かして充実感や満足感が得られる環境

		0	1	2	3	4	5
屋内での粗大運動遊びの空間	13 全園児が集まるホール等の十分な広さ						
	14 静と動の遊びが妨げられないエリアまたはスペース						

④屋外で身体を十分動かして充実感や満足感が得られる環境

		0	1	2	3	4	5
屋外空間、遊具	15 のびのびと身体を動かして遊ぶことができる屋外の広さ						
	16 屋外の大型設備の適切な量、配置						
	17 屋外の遊具の量が適切な量と内容						
	18 子どもが使いやすい屋外の設備や収納						
	19 木、草花などの自然の中で遊ぶエリア						
	20 屋外での木陰、日よけ、冬の陽ざし等の過ごしやすさ						

項目2 園児の生活全般、保健衛生、安全面などからみた環境

①子どもの安心・安全を確かなものにできる環境

		0	1	2	3	4	5
安全管理	21 洗剤、消毒剤、清掃道具などの適切な管理						
	22 危険予測、ケガ防止への配慮						
	23 園内外での園児への安全管理、全体への見守り、連携						
	24 安心して登園できる温かな受け入れ(園、通園バス)						
	25 散歩・園外保育時の人数把握、安全配慮						
	26 定期的な安全点検、日頃の安全管理						

②清潔で安心し、気持ちよく生活ができる環境

		0	1	2	3	4	5
清潔 保健衛生	27 室内の安全性、清潔						
	28 遊具や用具の消毒や清潔						
	29 衛生用品の補充、使いやすさ						
	30 手洗い場、トイレの清潔						
	31 食前の手洗いやテーブル等の清潔						

③子どもが主体的に生活できる環境

食事	32	個々に応じた食事の量、配慮	3.5
	33	食事時の和やかな雰囲気	3.0
	34	保育者の食を大事にする姿勢、食育への意識	4.0
	35	年齢や発達に応じた食事のマナー、適切な言葉かけ	3.0
排泄	36	トイレ、水道の使いやすさ	3.5
	37	それぞれの園児に応じたトイレの使用、見守り	3.0
睡眠	38	午睡時の適切な清潔、衛生、換気、室温	
	39	午睡時の保育者の温かな、適切な見守り	

項目3 園児の体験や遊びの環境

①豊かな話し言葉を育む環境

言葉等での表現	40	子どもの心情を理解した気持ちを受け止め	3.5
	41	語彙を広げる	3.5

②絵本の楽しさ、読んでもらう心地よさを味わう環境

絵本に親しむ	42	子どもの関心に応じた絵本の質、量、配置	3.5
	43	子どもが自由にくつろいで絵本を見るスペース	4.5
	44	クラスの年齢や人数に応じた冊数、量、質、配置	3.5
	45	保育者による読み聞かせ	3.5
	46	親子のふれあいの時間を大切に考えた家庭への絵本の貸し出し	3.5

③友だちと関わりながら遊ぶ環境

遊具、ごっこ遊び	47	ごっこ遊びなどのコーナーの充実（スペース、量、種類）	4.0
	48	クラス人数や年齢に応じた室内遊具の量と種類、内容	3.5

④文字、数に関心が持てる環境

遊びや生活の中の文字や数	49	年齢や発達に応じた文字、数、量、形などに親しむ機会	3.5
--------------	----	---------------------------	-----

⑤イメージを形にして楽しみ、友だちと共有できる環境

発達に応じてのびのびと描く経験	50	発達に応じたのびのびと描ける見守り、気持ちの受け止め	3.5
	51	子どもたちの作品の展示	3.0

⑥さまざまな表現活動が自由に体験できる環境

図分で考えたり、工夫したり、協力を得て、作ったりする経験	52	自分で工夫して描く、作ることができる環境づくり	3.5
	53	子ども同士で協力しながら遊びを楽しむ機会	4.0

⑦心地よい音楽に親しみ、表現を楽しむ環境

うた、音楽などの表現遊び	54	歌や演奏を聞く歌う踊るなどの音楽に親しむ環境	3.5
	55	音楽家の演奏や楽器の音色を聞いたり親しむ機会	4.0

⑧自然を感じ、様々な体験の中で好奇心や探求心を育む環境

自然との関わり	56	自然の素材で遊ぶ活動	4.5
	57	植物の栽培や生き物の飼育に関心が持てる活動	4.5
	58	季節に応じた遊び、活動（水・プール、雪遊び等）	3.5
	59	自然や季節を感じる体験	4.0
	60	周囲に自然が少ない場所での自然を感じる環境づくりの工夫	4.5

項目4 子ども同士の関わりや保育者など園児を取り巻く人的環境

⑨子どもの人権が尊重され、認められ、支えられる環境

子どもの人権に対する十分な配慮	61	人種、年齢、性別で区別しない配慮、肯定的な言葉かけ	4.0
	62	多様な言語や文化に触れる活動	4.5
	63	子どもの羞恥心や傷ついた気持ちへの配慮	3.5

②多様性を尊重する環境

☒	多様性の受容	64	障がいや発達についての理解、個々への配慮						
		65	インクルーシブな保育を意識した保育者の配慮、見守り						

☒子ども一人一人の特性に応じて安心して過ごせる環境

個別적인支援	66	必要に応じ一人での遊びの場や落ち着く場所が確保							
	67	保育者は、一人一人の違いを認め合えるような配慮							
	68	保育者の場面に応じた個々な適切な対応、支援							

④保育者の適切な働きかけ、見守り、関わり

子どもの遊びを引き出す環境	69	保育者の共感・励ましや子どもの意欲を引き出す対応							
	70	保育者は見通しを持ち、保育の準備がしてある							
子どもの育ちや内面を捉えた視点、理解、援助	71	保育者の適切な声量、温かい言葉がけ、見守り							
	72	子どもの安心、温かなやり取りやスキンシップ							
	73	子どものふるまいに対し感情的ではない適切な対応							

☒子ども自ら気づき、振り返り、友だちと興味関心を分かち合える環境

子ども同士の人間関係が育つ関わり	74	子ども同士のトラブルの場面での適切な対応、援助							
	75	子どもの葛藤や困難にであった時の適切な対応							

⑥家庭との連携

保護者の子ども理解	76	それぞれの家庭との連携							
	77	保護者に園への理解を深める機会							

⑦地域・社会に関心を持ち、関わりが持てる環境

☒小学校との連携	78	小学生と園児との交流の機会							
	79	小学校と園の職員との研修などの連携							
地域との関わり	80	保護者や地域への園の様子、取組みなどの情報発信							
	81	地域の人とのふれあい、行事への参加、世代間交流							
地域の子育て支援	82	未就園児親子と園との交流、園への理解促進							
	83	子育て支援としての情報交換や交流、相談支援							

《総評》

◆ 良い点、評価できる点、工夫が感じられる点等

- ・木を使った園舎で温かみが感じられ、天井も高く、天窓など明るく、涼しく過ごしやすい環境でとても良いと思いました。自然物、壁面など園の雰囲気がとても良かったです。
- ・遊具、砂泥遊びする庭と運動遊びができる庭と二つの庭があり、活動しやすいと思いました。
- ・住宅地とは思えないほど、自然環境がすばらしく、グリーンカーテン、藤棚、実のなる木などがあったり、小動物の飼育を通して触れ合い、大切に扱うことや不思議さなど興味の持てる環境が子どもの学びを育んでいると思いました。収穫した野菜を調理し、食までの過程の中で食への関心を深めたり、四季折々の自然活動をふんだんに取り入れていて良いと思いました。
- ・門、扉のロック、フェンスの高さなどセキュリティが厳重で安全面で十分配慮されていると思いました。
- ・先生方が穏やかで子どもへの関わりがやさしく丁寧でした。礼拝の中で子どもの言葉を拾い返すことで語彙の広がるきっかけにもなると感じました。
- ・遊びによりクラスが分かれており、自由に遊びながら学びの芽や主体性の育ちにつながる良い環境であると思いました。
- ・セミの抜け殻の展示や野菜の数を数えるなど、生活や遊びの中で数への関心を広げる環境を整えていると思いました。
- ・歌の発表コーナーでは、歌う人、お客さんに分かれ、自然とコンサート会場ができあがり、表現活動の場となっていました。日ごろから異年齢での自由な交流があり育ちあっている様子が伺えました。子どもたちの「やりたい」を大切に保育をしていると感じました。

◆ 気になった点、工夫や改善が必要と思われる点等

- ・食事面で配膳時の教諭のエプロン、台拭き、子どもの手洗いなど衛生面での配慮が必要かと思いました。食べ始めるまでが少し長いように思いました。

*短時間の観察時間ですので一部分を見ての評価となります。日々の保育が十分反映されているわけではありませんが、まとめの会で出された内容と個々の用紙に基づいて総評とさせていただきます。結果を踏まえて、子どもを取り巻く環境の改善に活かせるよう園内でご検討ください。